

トルコ金融政策（2020年4月）

1.00%ポイントの大幅な利下げを実施

2020年4月23日

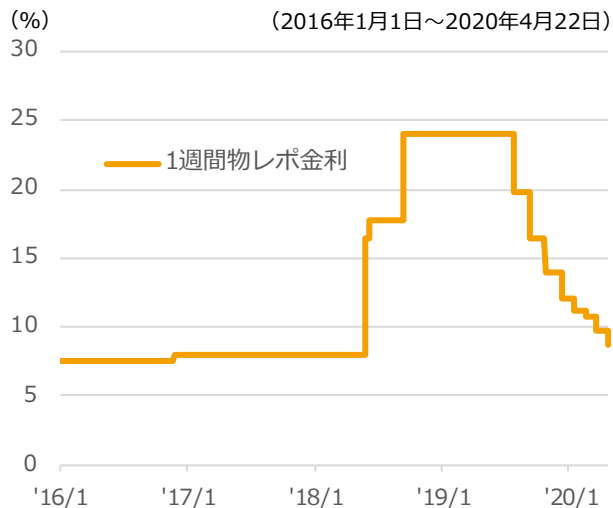
8 会合連続の利下げ

トルコ中央銀行は4月22日（現地）、政策金利（1週間物レポ金利）を9.75%から8.75%に、1.00%ポイント引き下げることと決定しました。市場予想の0.5%ポイントを上回る利下げ幅となったため、発表直後はトルコ・リラは売られたものの、その後は値を戻しつつあります。

トルコ中央銀行が大幅な利下げを実施した背景には、新型コロナウイルスの感染拡大による経済への打撃を緩和する狙いがあります。また中央銀行は声明文で、原油価格などの資源価格が暴落していることなどを背景に、年末にかけてインフレ率は鈍化すると表明しており、利下げの支援材料となったことが考えられます。

新型コロナウイルスの感染拡大によるトルコ経済への影響は甚大なものになっています。感染者数は足元、中東地域で最も多くなっており、外出制限や商店の閉鎖、外国人旅行者の受け入れ停止を実施していることから経済活動がほぼ停止しています。また、資金流出に対抗し通貨防衛をしていることから外貨準備高の減少も目立っています。新型コロナウイルスの感染拡大が収束するまでの時間軸や経済への影響などの不透明感は強いことから、当面は感染状況や世界経済への影響、また新興国の資金流入動向を注意深く追っていく必要があると考えます。

政策金利の推移



(出所) ブルームバーグ

インフレ率の推移



(出所) ブルームバーグ

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。